

第60回日本東洋心身医学研究会

プログラム

テーマ

東洋の知恵を心身医療に生かす

ハイブリッド開催
(現地+Web)

開催日時

2025年3月8日(土)
12:45~17:25

会場

品川インターシティホール

〒108-0075 東京都港区港南2-15-4

※会場アクセスは、裏表紙をご覧ください。

第一会場：1F ホール **LIVE配信**

第二会場：B1F 会議室1+2

第三会場：B1F 会議室3

会長

村松 芳幸

河渡病院 / 新潟大学 心療内科

オンデマンド配信

一般演題1~4

配信期間 | 2025年3月19日(水)~4月11日(金)

共催：日本東洋心身医学研究会 / 株式会社ツムラ

©日本東洋心身医学研究会 ホームページアドレス
<https://www.k-kenkyukai.jp/toyoshinshin/>

参加者の皆さまへ

1. 参加申込みについて

事前参加登録が必要です。

参加登録方法

〈参加登録期間〉 2025年1月8日(水) 10:00～4月11日(金)終日

日本東洋心身医学研究会ホームページから参加登録
<https://www.k-kenkyukai.jp/toyoshinshin/>



必要事項をご入力して下さい



事前決済をお済ませ下さい



決済完了後にご登録いただいたメールアドレスへ登録完了メールが届きます。
※開催1週間前を目途に、Web視聴に関するご案内メールを送信する予定です。



現地参加の方へ

決済完了後に、マイページに表示される二次元コードを
会期当日受付にてご提示ください



2. 参加費

会員

4,000円 (参加費1,000円、研究会年会費3,000円)
名誉会員、顧問は参加費1,000円のみ

会員(学生)

無料

非会員

5,000円 当日の入会可能

ハンズオンセミナー

無料 定員20名

- ・申し込み先着順
- ・参加登録時に併せてお申し込みください

お支払い方法

カード決済のみとなります。

決済可能カード | VISA/Master Card/American Express/Diners Club/JCB

- 参加登録後の取り消しは、お受けいたしかねます。お支払いいただいた参加費は理由の如何に関わらず返金いたしませんので、二重払いにご注意下さい。
- 領収書は、会員ページからダウンロードして下さい。
- 事情によりお手続きが困難な方は、最終ページに記載している事務局までご連絡下さい。

3. 参加・視聴に関するご案内および注意事項

第60回日本東洋心身医学研究会における講演(以下「本講演」)の参加・視聴にあたり、以下の内容をご確認いただきますようお願い申し上げます。

- ①本講演のLIVE配信は第一会場のみとなります。
一般演題1～4は3月19日(水)よりオンデマンド配信いたします。
- ②本講演の内容を無断で複写・複製・編集・録画・録音・転用(本講演のスクリーンショット・写真撮影・ダウンロード・他のサイトへのアップロードを含む)など著作権、肖像権の侵害、および不当な権利侵害を行わないで下さい。
- ③ログインIDやパスワードを他者に知らせたり、共有することのないよう管理して下さい。

Web 視聴の際の推奨視聴環境は以下の通りです。

Windows10以降/Google Chrome最新版

※JavaScriptが有効な状態をご利用ください。

※上記以外の組み合わせやMac の場合、画面が正しく表示されない、もしくは正しく機能しないことがあります。その場合、上記推奨の環境で再度操作願います。

4. その他

不測の事態等によりプログラムが変更になる場合もございます。適宜、HPにてアナウンスして参りますのでご確認ください。

座長の皆様へ

講演座長の受付はございません。担当セッション開始10分前までに、会場内の次座長席に必ずお着き下さい。

演者の皆様へ

1) 演者の皆様へのご注意 ※当日、リモートでの発表をご希望の先生は、2月7日(金)までに事務局までご連絡下さい。

- 1) 演者は前のセッション開始後、会場内の次演者席に必ずお着き下さい。
- 2) 各セッションの講演時間は以下の通りです。

一般演題	口演6分+質疑2分
EBM委員会報告	10分
第60回記念講演	40分
特別講演	40分
教育講演	35分
シンポジウム	40分(講演13分×3名)
ハンズオンセミナー	70分(講義30分+舌診・脈診実技40分)

2) PC発表に関するご注意

(1)PC受付について

- ①1. USBメモリ、2. CD-R(RW不可)、3. パソコン本体のうち、いずれかの形で発表データをお持ち込み下さい。
- ②発表の60分前までに、PC受付にて発表データの受付と試写を済ませて下さい。PCをお持ち込みの方も、60分前までにPC受付へお越しいただき、外部出力確認をお願いいたします。
- ③ファイル名は、【演題番号・演者名.pptx】として下さい。
- ④スライドのサイズは、16：9にて作成して下さい。

(2) USBメモリ、またはCD-R(RW不可)をお持ち込みの方への注意事項

- ①ソフトは、以下のものをご使用下さい。Windows 版PowerPoint 2007/2010/2013/2016/2019
※動画ファイルをご使用の方、Macintoshをご使用の方はPCをお持ち込み下さい。
- ②フォントはOS標準のもののみご使用下さい。
- ③発表者ツール(演台モニターにスピーチ原稿を映す)は使用できません。

(3) ノートPCをお持ち込みの方への注意事項

- ①バックアップとして、必ずメディア(USBメモリ、CD-R)もご持参下さい。
- ②画面の解像度は、XGA(1,024×768)をお願いいたします。
- ③PC受付にて映像の出力チェック後、発表者ご自身で会場内のオペレーター席へ発表の30分前までにお持ち下さい。※PCの機種やOSによって、出力設定方法が異なります。
- ④プロジェクターとの接続ケーブルの端子は、HDMIまたはミニDsub-15ピンです。PCによっては専用のコネクタが必要となりますので、必ずお持ち下さい。
※特に最近の小型PCは、別途付属コネクタが必要な場合がありますので、くれぐれもご注意ください。
- ⑤スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除願います。
- ⑥コンセント用電源アダプタを必ずご持参下さい。
※内蔵バッテリー駆動の場合、ご発表中に映像が切れる恐れがあります。

(4) PC操作のご案内

画面の操作はご自身で行っていただきます。演台にはキーボードとマウス、およびモニターがセットされています。PC受付にて担当者が操作方法を説明します。

(5) PC受付 オープン時間

3月8日(土) 12:00~17:00 1F ホール受付付近

3) 演題発表時の利益相反状態開示方法について

学術集会における演題発表時の利益相反状態開示方法は、以下の通りといたします。

1. 開示しなくてはならない筆頭演者

臨床研究に関するすべての発表において、利益相反状態の有無にかかわらず開示をお願いいたします。

2. 口演発表における開示方法

演題名・演者名・所属のスライドの次のスライド(第2スライド)に、以下に示すひな形に準じたスライドを提示したうえで、利益相反状態の有無を述べて下さい。

利益相反状態にある場合のひな形

第60回日本東洋心身医学研究会 学術集会 COI 開示 筆頭発表者名: ○○ ○○	
演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある企業などとして、	
① 役員・顧問:	なし
② 株保有・利益:	なし
③ 特許使用料:	なし
④ 講演料:	なし
⑤ 原稿料:	なし
⑥ 受託研究・共同研究費:	○○製薬
⑦ 奨学寄付金:	○○製薬
⑧ 寄附講座所属:	○○製薬
⑨ 贈答品などの報酬:	なし

利益相反状態にない場合のひな形

第60回日本東洋心身医学研究会 学術集会 COI 開示 筆頭発表者名: ○○ ○○
演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある 企業などはありません。

単位付与について

日本心身医学会認定「心身医療専門医」および認定医の更新(3単位)

日本心身医学会・日本心療内科学会合同 「心療内科専門医」の更新(3単位)

※認定更新の方法は、各学会のHPでご確認下さい。

第60回日本東洋心身医学研究会 タイムスケジュール

	第一会場 (1F ホール) LIVE 配信	第二会場 (B1F 会議室 1+2)	第三会場 (B1F 会議室3)
12:45	開会の辞 (5分)		
12:50	一般演題1 (40分) 5演題	一般演題2 (40分) 5演題	定員：20名(申し込み先着順) ハンズオンセミナー (70分)
13:30	休憩 (10分)		司会・実技：西田 慎二 講義・実技：網谷 真理恵 講義・実技：鈴木 甫
13:40	教育講演(35分) 座長：河合 啓介 演者：犬飼 賢也	一般演題3 (35分) 4演題	
14:15	休憩 (10分)		
14:25	理事会報告と授与式 (15分)		
14:40	EBM委員会報告 (10分)		
14:50	休憩 (10分)		
15:00	第60回記念講演(40分) 座長：芦原 睦 演者：岡 孝和		
15:40	休憩 (10分)		
15:50	シンポジウム(40分) 【心身一如を科学する】 3演題	一般演題4 (40分) 5演題	
16:30	休憩 (10分)		
16:40	特別講演(40分) 座長：村松 芳幸 演者：須永 隆夫		
17:20	閉会の辞 (5分)		
17:25	情報交換会		
18:30			

※第一会場のみLIVE配信致します。一般演題1～4は3月19日(水)よりオンデマンド配信致します。

第 60 回日本東洋心身医学研究会 プログラム

◆ 会期：2025年 3月 8日(土) 12:45~17:25

◆ 第 60 回会長：村松 芳幸 (河渡病院/新潟大学 心療内科)

開会の辞 第 60 回会長 村松 芳幸 (河渡病院/新潟大学 心療内科) (12:45~12:50)

■ 一般演題 1 (第一会場) (12:50~13:30)

座長：端詰 勝敬 (東邦大学)

1. 不登校をきたした思春期ストレス関連疾患に漢方治療が奏功した3症例

はこぎ漢方内科・心身医療クリニック

千々岩 武陽

2. 四逆散が神経性過食症の精神症状に奏効した一例

医療法人社団おおぞら会つばさクリニック相模原¹⁾、医療法人社団おおぞら会つばさクリニック町田²⁾

○銀谷 翠¹⁾、鈴木 智広²⁾

3. 中枢性副腎皮質機能低下症の倦怠感に補中益気湯の併用が有効であった一例

福岡徳洲会病院

山下 真

4. 風邪に罹患しやすい体質や疲労感に対して 漢方治療が有効であったと考えられる1例

阪神漢方研究所附属クリニック

藤田 昌弘

5. 気管支拡張症に伴う倦怠感に補剤が有効であった一症例

関西医科大学 心療内科学講座

水野 泰行

■一般演題2（第二会場）

(12:50~13:30)

座長：中尾 睦宏（昭和大学）

1. 高齢男性の両下肢から足底の痺れに対し漢方薬が奏功した一例

愛媛県立中央病院

○宇都宮 健、鶴田 寛二、寺野 友美、兵頭 沙梨、山岡 傳一郎

2. 交通外傷後から長期に抱えた複数の精神症状に対し、漢方薬が奏効した一例

香川大学医学部精神神経医学講座¹⁾、高松平和病院²⁾、香川大学医学部医学科健康科学³⁾

○木戸 瑞江^{1) 2)}、原田 真吾²⁾、中村 祐¹⁾、塩田 敦子³⁾

3. 傾聴が重視される職業に従事する身体症状症患者に対し 抑肝散加陳皮半夏が有効だった2例

九州大学病院 心療内科

○三澤 史明、宮田 典幸、朝野 泰成

4. 抑肝散のエビデンス、及び奏功例の検討

医) 建悠会 吉田病院¹⁾、宮崎大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室²⁾

○清水 謙祐^{1) 2)}、中村 雄²⁾、高橋 邦行²⁾

5. 放射線治療中のQOL改善に対する人参養栄湯の介入効果推定

帝京大学医学部附属病院 放射線科

○白石 憲史郎、熊谷 仁

■ハンズオンセミナー（第三会場）

※参加費：無料

定員：20名(申し込み先着順・現地のみ)

(12:50~14:00)

テーマ【初級編】脈診・舌診実技の基本を体験

司会・実技指導：西田 慎二（にしだクリニック）

講義・実技指導：網谷 真理恵（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 地域医療学分野）

講義・実技指導：鈴木 甫（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 口腔顎顔面外科学分野）

■教育講演（第一会場）

(13:40~14:15)

座長：河合 啓介（国立国際医療研究センター国府台病院）

東洋医学的にみためまい

いぬかい耳鼻科クリニック／新潟大学病院 漢方外来

犬飼 賢也

■一般演題3 (第二会場)

(13:40~14:15)

座長：丸岡 秀一郎 (日本大学)

1. 社会的敗北ストレスマウスが呈する
過敏性腸症候群様症状に対する桂枝加芍薬湯の作用

東京理科大学薬学部 生薬学研究室¹⁾、東京理科大学薬学部 薬理学研究室²⁾

○濱田 実花¹⁾、寺下 千晶²⁾、吉岡 寿倫²⁾、山田 大輔²⁾
大越 一輝¹⁾、斎藤 顕宜²⁾、羽田 紀康¹⁾

2. 平胃散の使用経験

朋佑会札幌産科婦人科

佐野 敬夫

3. 漢方薬選択に難渋したベーチェット病の1例

富士クリニック

藤田 周一郎

4. 両側水腎症を呈した増殖性膀胱炎に対して漢方薬の長期投与が奏効した1例

松山赤十字病院

○林 哲太郎、嶋田 祐一郎、鍵山 義斗、長坂 啓司
松崎 信治、野田 輝乙、矢野 明、田丁 貴俊

■理事会報告と授与式 (第一会場)

(14:25~14:40)

芦原内科・心療内科(中部心身医療研究所)

芦原 睦

■EBM委員会報告 (第一会場)

(14:40~14:50)

座長：岡 孝和 (国際医療福祉大学)

神経発達症のEBM

大阪医科薬科大学小児科

吉田 誠司

■第60回記念講演 (第一会場)

(15:00~15:40)

座長：芦原 睦 (芦原内科・心療内科(中部心身医療研究所))

日本東洋心身医学研究会の足跡とこれから

国際医療福祉大学病院 心療内科¹⁾、国際医療福祉大学医学部心療内科学²⁾

岡 孝和^{1) 2)}

■シンポジウム（第一会場）

(15:50~16:30)

テーマ【心身一如を科学する 一脳腸相関と漢方の可能性一】

座長：福土 審（東北大学／石巻赤十字病院） 福永 幹彦（西京都病院）

脳腸相関病(DGBI)に併発する不安症状に対する漢方薬の可能性

弘前大学 保健管理センター
佐藤 研

過敏性腸症候群に伴う下痢に対する半夏瀉心湯による臨床的有用性と腸内細菌叢誘導

京都府立医科大学大学院医学系研究科消化器内科学教室¹⁾、京都府立医科大学附属病院 消化器内科²⁾
明石市立市民病院 消化器内科³⁾、西陣病院 消化器内科⁴⁾、綾部市立病院 消化器内科⁵⁾
済生会吹田病院 消化器内科⁶⁾、愛生会山科病院 消化器内科⁷⁾

○吉田 直久¹⁾、安田 剛士³⁾、稲垣 恭和⁴⁾、長谷川 大祐⁵⁾、福本 晃平⁶⁾、村上 貴彬⁷⁾
廣瀬 亮平²⁾、土肥 統²⁾、内山 和彦²⁾、高木 智久²⁾、伊藤 義人²⁾

古典および構成生薬から探る機能性消化管疾患の漢方

医療法人医方会 奥見診療所 / 大阪総合医学・教育研究会附属 親と子の診療所
奥見 裕邦

■一般演題4（第二会場）

(15:50~16:30)

座長：穂坂 路男（勝山診療所）

1. 東洋整体療法(推拿療法)と灸療法を用いて多年にわたって続いた
変形性股関節症が改善した1例

三明整体院
郭 小瓊

2. 生理的飛蚊症に漢方薬が奏効した一例

岐阜県総合医療センター 産婦人科・東洋医学科
佐藤 泰昌

3. 月経関連の神経症、不眠症などに対して抑肝散加陳皮半夏(抑肝散)を用いた17例

札幌白石産科婦人科病院
武田 智幸

4. 「待てない」軽症精神疾患に漢方薬で対処する試み

芳賀心療内科クリニック
櫻井 耕

5. レビー小体型認知症の精神症状に対して漢方薬が奏効した1例

済生会横浜市南部病院 脳神経内科¹⁾、小菅医院・横浜朱雀漢方医学センター²⁾
○中江 啓晴¹⁾、草鹿砥 宗隆²⁾、小菅 孝明²⁾

■特別講演（第一会場）

（16：40～17：20）

座長：村松 芳幸（河渡病院／新潟大学）

日常診療に活かす東洋医学と操体法

木戸クリニック
須永 隆夫

閉会の辞 第60回会長 村松 芳幸（河渡病院／新潟大学 心療内科）

（17：20～17：25）

学術集会終了後、情報交換会の場をご用意しております。

日本東洋心身医学研究会役員

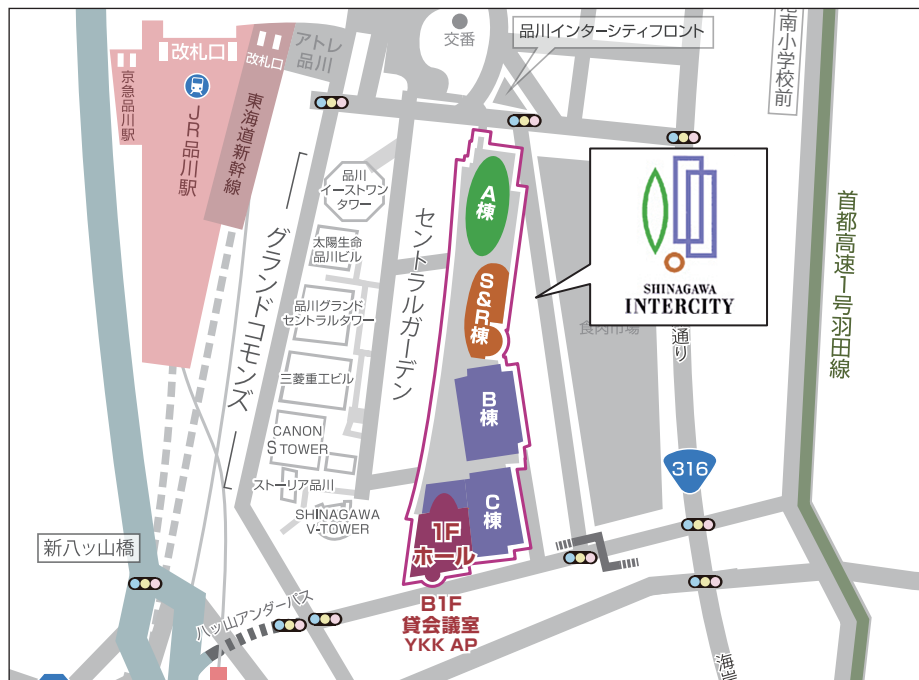
役 員

理 事 長	芦原 睦		
副 理 事 長	伊藤 隆	河合 啓介	端詰 勝敬
理 事	浅川 明弘 岡 孝和 奥見 裕邦 須藤 信行 西田 慎二 福永 幹彦 丸岡 秀一郎 吉原 一文	網谷 真理恵 岡田 宏基 木村 容子 千々岩 武陽 蓮尾 英明 穂坂 路男 村松 芳幸	伊藤 直樹 小川 真里子 佐藤 研 中尾 睦宏 福土 審 牧野 真也 吉内 一浩
監 事	杵渕 彰	山岡 昌之	

名誉会員

名 誉 理 事 長	末松 弘行		
名 誉 理 事	吾郷 晋浩 久保木 富房 中井 吉英	石川 俊男 佐々木 大輔 村上 正人	乾 明夫 千葉 太郎 山本 晴義
特 別 顧 問	鴨下 一郎	久保 千春	松田 邦夫
顧 問	井出 雅弘	杵渕 彰	山岡 昌之

会場案内図



医療用漢方製剤の適正使用をして頂くために

有効例等の症例報告に関する情報もごさいますが、その症例が全ての症例にあてはまるものではなく、当該医薬品の処方を推奨するものではありません。

承認された効能・効果、用法・用量につきましては、当該製品の添付文書をご参照ください。

本学術集会に関するお問い合わせ

第60回日本東洋心身医学研究会 共催事務局

株式会社ツムラ 企画推進部内

〒107-8521 東京都港区赤坂2-17-11

Mail: toyoshin@mail.tsumura.co.jp

ツムラお客様相談窓口 TEL: 0120-329-970 (9:00~17:30 平日のみ)

共催事務局ではテレワークを実施しております。

たいへんお手数ではございますが、ご連絡ご質問の際には、E-mailにてお問合せいただけますよう、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。